

## 島田市学校給食食物アレルギー対応検討委員会会議録

- ・ 日 時 令和 2 年 3 月 23 日（月） 午後 7 時～ 9 時 00 分
- ・ 会 場 中部学校給食センター 研修室
- ・ 出席委員 小澤美佳委員、天野昭博委員、松村修委員、杉山真由美委員、  
新聞恵委員、久保田由美子委員、渥美千尋委員、太向純子委員
- ・ 事務局側 高橋学校給食課長、家田係長、野末主任栄養士

（議事内容）

### 1. 開会（司会進行）

司会より、委員 8 人中 8 人が出席しているため、島田市学校給食食物アレルギー対応検討委員会の会議の成立を報告します。

### 2. 挨拶（学校給食課長）

みなさん、こんばんは。本日は、普段のお仕事でお忙しいところ、今年度第 2 回目となります島田市学校給食食物アレルギー対応委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。最近のコロナウイルス感染症によるイベント等の中止の状況を踏まえ、この委員会の開催につきましても検討いたしました。不特定多数でないことや来年度の認定に係る大変大切な会議であることから開催をさせていただくことといたしました。本日の委員会では、令和元年度のアレルギー実施状況の報告と議事として令和 2 年度申請者 56 人について御審議をいただきます。ここで、最近の経過について御報告させていただきます。島田市の学校給食では、平成 27 年 9 月から 2 品目を対象とした除去で開始しています。この時は 2 人、28 年 1 月から 6 品目に拡大し、6 人となりました。また、29 年度には 7 人、30 年度からは現在の 8 品目の除去とし 13 人、令和元年度は 15 人となっています。また、この委員会でもお諮りをさせていただきましたが、食物アレルギー対応マニュアルを昨年の 3 月末に改定をし、実施方法の見直しを行ってまいりました。具体的には、除去対象品目である 8 品目は基本として、この 8 品目以外にもアレルギーを有する児童生徒についても除去食の対象としていくように改訂しました。また、完全除去を原則として、少しなら食べられるや加工してあれば食べられるなどの、曖昧な対応は学校給食においては不可とするように改訂しました。このマニュアルについては、令和 2 年度から適応していきますので、本日の認定者からは、新しいマニュアルに沿って対応していくこととなります。また、懸案となっていました南部学校給食センターでの実施につきましては、令和元年度の夏季休業中に専用のアレルギー調理室を整備し、こちらにつきましても令和 2 年度のゴールデンウィーク明けから除去食の提供を開始していきます。

本日の認定につきましては、中部では 36 人とこれまでの 15 人から大幅に増えています。また、南部では新たに 20 人の認定をしていただきます。以上、説明ばかりとなりましたが開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

### 3. 報告

検討委員会要綱第5条の第4項の規定により、委員長が議長を務めた。

(1) 「令和元年度アレルギー対応食実施状況報告」について事務局より説明をおこなった。

- ・調理状況は、専任の栄養士と調理員が調理と確認を行っている。
- ・安全な提供については、現在は大きな問題もなく、給食センターから学校へ到着し、児童生徒の手元に届くまでの段階は、学校の協力のもと実施している。
- ・令和元年度アレルギー対応食を提供している継続者について内容を報告。
- ・2名の終了者についてと、2名の変更者について説明を実施した。

### 4. 議事

(1) 「令和2年度アレルギー対応食申請者審議」について事務局より説明をおこなった。

(内容)

- ・令和2年度の認定の経過については、10月の就学時検診時にアレルギー対応食について説明を実施し、12月から2月にかけて面談を実施した。
- ・市内全体で100名の児童生徒と面談を実施した。
- ・市内全体の学校生活管理指導表の提出や給食にかかわるアレルギー対応人数の内訳等は、市内全体7585人中、学校生活管理指導表提出者が131名で全体の1.7%だった。
- ・エピペン所有者が18名、全部弁当にしている児童生徒が7名だった。
- ・中部学校給食センター管内での申請者36名、南部学校給食センター管内での申請者20名、併せて56名について、医師の指示内容や家庭での対応内容、学校での受け入れ体制、学校給食センターでの実施内容等を確認・協議し、委員全員からアレルギー対応食の提供について承認を得た。

### 5. その他

(1) 島田市学校給食食物アレルギー対応マニュアルの改善事項

- ・浜松市のアレルギーマニュアルにある例外扱いの生卵のアレルギー、乳のアレルギー、トマトのアレルギーの取り扱いについて島田市での対応を協議した。学校は、完全除去の方がわかりやすく、安全に運用できる。浜松市にも運用についての問題点等を確認し、今後の検討課題としていく。
- ・そばはほぼ出ることはないため、8品目から減らすかどうかについても今後検討課題としていく。
- ・来年度様式集の一部を変更していく。
- ・来年度の面談については、継続者の56名と新入学児童と新規申請者について実施する。

閉会

午後8時52分に閉会した。